OWNER'S MANUAL

ミュージック モニター サウンド システム

MMS-1

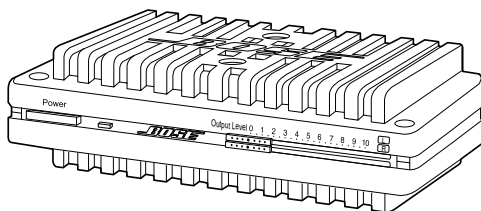
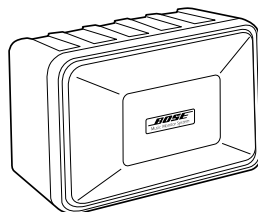
この度はMMS-1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。

MMS-1 取扱説明書

開梱に際してのご注意とお願い

MMS-1は、ステレオパワーアンプ1705ⅡとスピーカシステムMMS-1SP2本で構成されています。MMS-1SPは、左右同じスピーカーが2本入っていますので左右対称にはなりませんが、フルレンジスピーカーシステムですので、音響特性上問題はありません。安心してご使用ください。アンプの取り扱いについてはアンプに付属されている取扱説明書をご覧ください。

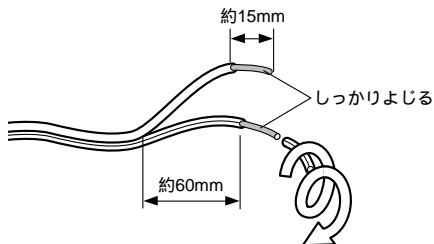
製品を取出す際は、グリルをおさえて持ち上げないでください。また、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

MMS-1システムの構成品

ステレオパワーアンプ（1705Ⅱ）×１台

スピーカー（MMS-1SP）×２台

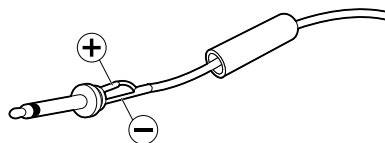
※スピーカーコードは付属されておりませんので別途ご用意ください。

接続について

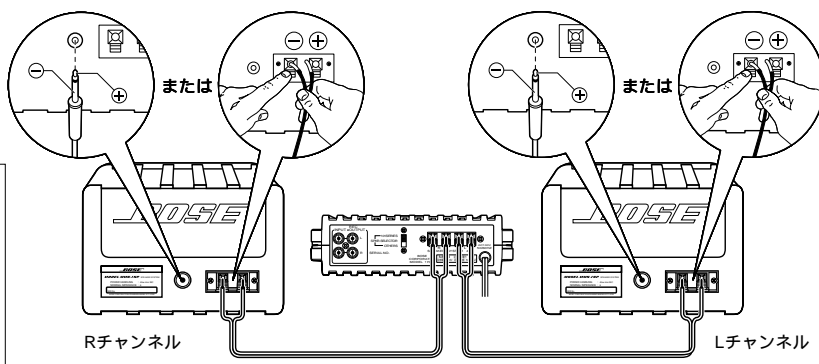
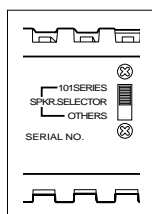
スナップイン・ターミナルを使用して接続する場合

●スピーカーとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。
●スピーカーの裏面にあるスナップイン・ターミナルとアンプからの出力端子を、スピーカーコードで接続してください。対応コードは、0.5mm^2～1.25mm^{2}です。
●スピーカーコードは、右の図のように先端の被覆をむいておきます。
●スピーカーコードは、スピーカーの⊕側端子とアンプの⊕側端子とを、スピーカーの⊖側端子とアンプの⊖側端子とを接続してください。

※スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。

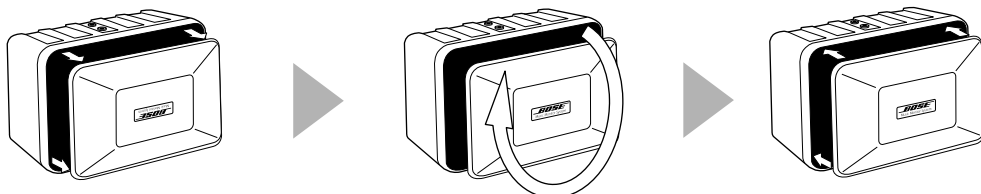
2P標準ジャックを使用して接続する場合

●スピーカーとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行なってください。
●マイクまたは楽器用の2P標準プラグを用意します。
●図のように極性を注意してコードをハンダ付けしてください。

カバーを元に戻したとき、ハンダ付けした部分がショートしないように十分注意してください。ショートしていますと、アンプを破損させる危険があります。

1705Ⅱとの接続

●1705Ⅱ背面のSPKR.SELECTORスイッチを101SERIES側に合せます。

取り付け金具について

●MMS-1SPには、101シリーズの豊富な種類の取り付け金具がご使用になれます。詳しくは、カタログをご参考になるかボーズ製品の販売店もしくはボーズ株式会社までお問い合わせください。

●金具を使ってMMS-1SPを取り付けるとロゴプレートが逆向きになる場合があります。そのときは、1度グリルをはずし、上下逆さまにしてつけ直すことで、正位置にすることができます。

スピーカーのお手入れについて

キャビネットの汚れを落とす場合

●汚れやホコリは、柔らかい布で、から拭きをしてください。

●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを拭きとり、別の乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。

●シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

スピーカーの防磁について

このスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、ブラウン管方式のテレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

仕　様（MMS-1SP）

ユ　ニ　ッ　ト	**新開発11.5cmフルレンジドライバー**
定　格　入　力	**45W(rms)**
インピーダンス	**6Ω**
サ　　イ　　ズ	**232(W)×154(H)×152(D)mm**
重　　　　　量	**1.9kg（1本）**

1705 II は、1705 II の取扱説明書をご覧ください。

故障の場合のお問い合せ先

故障及び修理のお問い合わせは、
ボーズ・サービスセンター株式会社　　フリーダイヤル　0120-235-250
住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、
ボーズ株式会社、インフォメーションセンター　　☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。なお、MMS-1システムの保証書はセットに同梱されているステレオパワーアンプ1705 II についても有効になります。

Better sound through research®

http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

〒150ー0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷YTビル　TEL 03-5489-0955

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

 △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

 ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告	●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
	●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	●＜本製品＞を分解したり改造ないでください。破損や火災の原因となります。
	●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

注意	●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
	●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
	●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。

OM-1117
06•06-0.5 K-F•1 (I-M)